

## 2025年度（第7回） スクラッチ杯競技

【予選】2025年5月4日（日）

【決勝】2025年5月11日（日）

### 競技の条件

#### 1. 競技規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とローカルルールおよび競技特別ローカルルールを適用する。

#### 2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。

#### 3. 競技方法

スクラッチ競技 36ホールストロークプレー（予選18ホール、決勝18ホール）

天候その他都合により、競技方法を変更することがある。

#### 4. クラブと球の規格について

(a) 適合ドライバーヘッドラストを適用する。

プレーヤーが行うために使うドライバーはR&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドラストに掲載しているクラブヘッド（モデルとロフトで識別される）を持つものでなければならない。このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰:失格

例外: 1999年より前に製造されたクラブヘッドを持つドライバーは、このローカルルールから免除される。

(b) 適合球リストを適用する。

ストロークを行うときに使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。このローカルルールに違反した球でストロークを行ったことに対する罰:失格

### 競技特別ローカルルール

#### 1. 険悪な気象状況によるプレーの中止（規則5.7）

危険な状況のためにプレーの中止、または通常の中止は「カートに搭載の無線」によって伝えられる。

どちらの場合も、プレー再開は「カートに搭載の無線」によって伝えられる。危険な状況の為にプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

#### 2. ホールとホールの間の練習禁止

競技者は最後にプレーしたホールのパッティンググリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない球を転がすことによって最後にプレーしたホールのパッティンググリーン面をテストしてはならない。

（指定練習グリーンは除く）

この条件の最初の違反の罰は、一般の罰(2罰打/プレーヤー最初のホールに適用)。

2回目の違反の罰は失格。

**3. 青杭または白線で標示してある区域はプレー禁止の修理地とする。**

球がその区域内にある場合や、その区域がスタンスや意図するスイングの区域の妨げとなる場合には、規則 16.1f による救済を受けなければならない。**このローカルルールの違反の罰は、一般の罰(2 罰打)。**

**4. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。**

**5. 7番、14番、17番ホールの第1打目において、ペナルティーエリアにボールが入った場合、1打付加してドロップ区域にドロップすることができる、〈任意〉**

### **注 意 事 項**

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更がある場合は、「マスター室」及び「スタートティングホールのティーアイングエリア付近」に掲示して告示する。
2. 競技参加者は競技(スタート時刻)30分前までにフロントにてチェックインを済ませ、且つ、スタート時刻までにスタートティングエリアに到着していること。これに違反した場合、ペナルティーを課すことがある。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に(1ホール以上)あけないよう注意のこと。  
且つ、ハーフ2時間15分を目安にプレーを心掛けること。プレーを不当に遅らせた場合は、ペナルティーを課すことがある。
4. スタート前の練習は打ち放し練習場においておいて、備付けの球を使用し、1人1コイン(25球)を限度とする。  
ハーフでの練習は指定練習場(パター)のみとする。
5. ティーマークはコンペティションティとする。
6. コース内は携帯電話の使用を禁止する。(距離測定 高低差のアプリ等の使用不可)
7. バッグの口径は9.5インチ、重量は13キロを超えないこと。
8. 競技委員会は競技中も含めていつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加を取り消すことができる。

以上